

生涯学習だより

まちづくり市民大学共通講座
しもつけ大人塾
〜他地域との交流を実施〜

市民の自立性を育成し、地域課題の解決力を身につけることを目的に実施している「しもつけ大人塾」では、市民主体のまちづくりとは何か、どのように行動を起こしたらよいかを考えながら、自分の持ち味を活かして地域に関わることの楽しさを知るなど、地域で生きる方法を学んでいます。講座の一環として館外研修「おとなの遠足」を実施し、他地域で実施されている同様の講座が主催するイベントを見学、参加してきました。

「だがしや楽校」という自分の得意なもの・好きなことを見せ合うおまつりで、横浜市都筑区の「つづき楽校」が主催した『わいわい横丁』です。見学ばかりではなく、下野市の特産品かんぴょうを紹介し、地元野菜を持参して販売しました。他地域の人情報交換するなど交流をして、いろいろなまちづくりのヒントを学びました。



11月14日 わいわい横丁参加

学校支援地域本部事業講演会
が開催されました

「学校支援を通して作り出したもの」子どもと大人の感動ある出会い・ふれあいづくりを」と題して、鹿沼市にある学社融合研究所代表の越田幸洋氏を講師に招き、学校支援の現状やその事例、学校支援から見えてくるものや今後の展望などについて、講演会を12月6日(月)に石橋中学校で開催しました。

たくさんさんのPTA関係者や実際に学校支援ボランティアにかかわっている方、学校教職員などが、それぞれの立場で学校支援のあり方について熱心に聴講しました。

市では、ふれあい学習推進事業として、今後も学校支援事業に力を入れていきます。

第3回子どもなんでも発表会でパフォーマンス!

11月23日(火)、国分寺西小学校にて、市青少年育成市民会議主催の第3回子どもなんでも発表会が開催されました。

市内小学校児童を対象に参加者を募集したところ、全市から14組34名の子どもたちが参加し、得意なことや発表したいことを披露してくれました。

歌、ダンス、ピアノ、なわとび、あやとり、手品、一輪車、人間コンパス、少林寺拳法型、ゆかた帯結び、などなど!!発表内容も多彩なものでした。

発表する子どもたちはもちろん、見ている大人たちもワクワクドキドキのとても楽しい時間を過ごしました。



何でも発表会の出し物

「心豊かな青少年を育む
県民の集いin下野市」
が開催されました



鈴木 稔氏の講演

11月28日(日)にグリムの館で「県民の集いin下野市」が開催されました。

講師に鈴木稔氏をお招きしたの講演は、子どもが大人になりたくない理由を模索することや自己肯定感の大切さを中心に、開会冒頭で唱和した「とちぎの子ども育成憲章」を取り入れた内容で、参加者とコミュニケーションをとりながらの講演は、時間の経過を忘れさせるものでした。

アトラクションは、地元古山小学校吹奏楽部が学校ではあまり披露しないアニメ曲などを演奏し、アンコールが出るほどでした。

この模様は、1月9日(日)午前9時からの「クローズアップとちぎ」で一部放送されます。

「子どもの心が見えますか?
子どものサインに気づいていますか?」
〜教育講演会を開催〜

市子ども会育成会連絡協議会と青少年育成市民会議の共催による教育講演会を、12月5日(日)に国分寺公民館で開催しました。

講師にNHK「つながるラジオ電話相談」でおなじみの心理カウンセラー内田良子氏をお招きして、「いじめと不登校」学校で傷ついた子どもの心とくらし」をテーマに講話をいただきました。

不登校になってしまった子どもたちの原因や背景と、どのように対処したらよいか、どうすれば避けられたのかなどを聞き、不登校の子どもの権利について考えました。

また、後半は聴講者から出された質問票について、一つずつ丁寧に回答していただきました。講演会終了後も相談の時間を設け、希望する方の相談について、親身になって話を聞いてもらいました。